

平成 18 年度研究連絡会議議題等一覧

回 数 開催月日	議 題 等	内 容 等
第 47 回 4 月 21 日	(1) 平成18年度調査・研究課題について	・平成 18 年度の調査・研究課題（① 展示会開催のための所蔵資料の調査研究、② 内閣文庫所蔵資料の図版所在情報の作成、③ 当館所蔵の朝鮮本の解題、④ 移管手続きに係る問題点の整理・分析、具体的改善方策の検討、⑤ 公開に関する手続き及び基準の検討、⑥ 既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、それぞれ各テーマを担当する専門官・研究官から、本年度の調査研究の方針及び見通しについて説明があり、質疑応答を行った。 ・今年の夏の企画展は「さかな・魚・肴」のタイトルとし、開催期間は 7 月 24 日～9 月 22 日とすることとした。 ・来年の秋の特別展「漢籍展」については、国際会議があるので、それに合わせ開催時期を調整することとした。
第 48 回 5 月 19 日	(1) 平成 18 年秋の特別展について	・平成 18 年秋の特別展についての会期、展示趣旨、具体的な展示物、講演会演者等の説明があり、意見交換が行われた。
	(2) 平成 19 年春の特別展について	・平成 19 年春の特別展についてのタイトル案、会期、展示内容案の説明があり、意見交換が行われた。 ・会期は憲法記念日の 5 月 3 日から 22 日までと決定された。また、内覧会は 2 日となった。
	(3) 移管に係る検討事項について	・移管対象機関からの電子媒体での公文書の移管に当たっての当面の対応について、担当専門官から問題提起があり、これについては簡単に結論が出ないため、別途情報の収集等を行い、今後の内閣府懇談会の検討結果等も踏まえ、さらに検討することとした。 ・今年度の移管に当たっての内閣府への申入れ事項について、スケジュール等の提案があり、案のとおり了承された。
	(4) 平成 11 年法務省移管資料の公開について	・平成 11 年度に法務省から受け入れた戦争犯罪裁判関係資料のうち、手記及び聴取書の公開について、担当専門官から提案があり、請求があった 2 件については、非公開から要審査公開へ概定区分の変更を行うこととした。
第 49 回 6 月 16 日	(1) 『北の丸』掲載予定論文について	・『北の丸』第 39 号に掲載予定の論文及びその内容について説明があり、原案どおり了承された。
	(2) ICA 執行委員会東京会合について	・前月開催された ICA 執行委員会東京会合について、東京会合の概要、主な議題、開催までの経緯、業務の委託、出席者の声などが報告された。その後、記録写真を映しながらの実際の会合の様子などが報告された。

回 数 開催月日	議 題 等	内 容 等
	(3) 全国公文書館長会議について	・前月開催された平成 18 年度全国公文書館長会議について、市町村合併関係のアンケート結果、研修関係のアンケート結果、指定管理者制度等の意見交換の結果についての紹介があった。
	(4) 歴史公文書探求サイト「ぶん蔵」について	・歴史公文書探求サイト「ぶん蔵」の発足経緯、作成・管理体制、掲載内容について説明が行われた。
	(5) 第 2 回アジア太平洋アーカイブズ学教育国際会議について	・本年 10 月に開催される標記会議の経緯、日程、プログラム及び当館からの発表について説明が行われた。
	(6) 次回研究連絡会議について	・来月の研究連絡会議の外部講師についての案が示され、原案どおり、地方の公文書館関係者としてことず承された。
第 50 回 7 月 21 日	地方自治体における公文書館設立の現状と課題について	①岡山県立記録資料館横山定氏から「地方自治体における公文書館設立の現状と課題～岡山県立記録資料館の場合～」 ②上越市公文書館準備室山本幸俊氏から「市町村公文書館設立の現状と課題～新潟県上越市の事例を中心に～」 ③当館の梅原康継公文書専門官から「公文書館の設立動向と長野市公文書館準備委員会について」 以上の a.最近開館した地方自治体の公文書館の担当者、b.現在公文書館を準備中の地方自治体の担当者、及び c.全国的な様子についての報告者、計 3 名から、上記の内容について様々な状況の説明が行われ、国立公文書館が地方の公文書館設立に向けて何ができるかについて意見交換が行われた。
第 51 回 9 月 22 日	(1) EASTICA 第 16 回理事会及びセミナー報告	・モンゴルのウランバートルで開催された EASTICA 第 16 回理事会及びセミナーについての出席報告が行われた。 ・その中で行われたカントリー・レポート「日本の地方自治体公文書館：設立・機能・業務に関する基準について」の概要が説明された。
	(2) 移管にかかる事前申出・協議の状況について	・9 月 15 日締め切りの移管にかかる事前申出・協議の提出状況について各担当専門官から報告が行われた。7 府省から事前申出・協議があり、また、5 省庁が遅延して提出する予定である旨の報告があった。
	(3) 専門職員養成課程の専門官等担当講座について	・今年度を実施する専門職員養成課程について、主な内容及び昨年度との変更点等について、業務課から説明が行われた。 ・今年度を実施する専門職員養成課程において講座を受け持つそれぞれの専門官等（館長、理事、大賀補佐、牟田・梅原・下畠各専門官）から、講義の方針・内容について説明が行われた。

回 数 開催月日	議 題 等	内 容 等
	(4) レプリカの作成について	・今年度のレプリカの作成について提案があり、今年度は作成しないことで了承された。
	(5) 次回研究連絡会議について	・来月の当会議の外部講師についての案が示され、原案どおり、オーストラリアのマリアン・ホイ氏で了承された。
第 52 回 10 月 23 日	オーストラリア国立公文書館が行う研修について	・オーストラリア国立公文書館研修プロジェクト及び運営部次長マリアン・ホイ氏から「オーストラリア国立公文書館が行う研修について」と題して、①国立公文書館職員のための研修、②新人研究、③オーストラリア政府機関のための研修等について講義が行われた。講義終了後、①有料研修と無料研修の区分けについて、②大学院生も受講できる研修制度等についての質疑応答が行われた。
第 53 回 10 月 27 日	(1) 平成 19 年春の特別展について	・平成 19 年春の特別展について説明があり、展示構成、講演会講師、アドバイザー会議メンバー等について、引き続き検討することとなった。
	(2) 平成18年度調査・研究課題の進捗状況について	・平成 18 年度の調査・研究課題（①展示会開催のための所蔵資料の調査研究、②内閣文庫所蔵資料の図版所在情報の作成、③当館所蔵の朝鮮本の解題、④移管手続きに係る問題点の整理・分析、具体的改善方策の検討、⑤公開に関する手続き及び基準の検討、⑥既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、それぞれ各テーマを担当する専門官・研究官から、本年度の調査研究の進捗状況について説明があり、いくつかの指摘がなされたうえで、了承された。
	(3) 専門職員養成課程の専門官・研究官担当講座について	・平成 18 年度に実施する専門職員養成課程において講座を受け持つそれぞれの専門官・研究官から、前回の研究連絡会議で説明がなかった残りの講義の内容について説明がなされた。
第 54 回 11 月 24 日	(1) 平成 18 年度移管の申出について	・各府省担当専門官・研究官より、各府省からの移管の申出状況等について報告が行われ、次のような発言があった。 ・移管の申出が遅れている府省については、より強い圧力をかけて早急に出させるべきである。 ・財務省は税務大学校租税資料室を自前のアーカイブズと認識しているようなので、調査の必要がある。 ・逓信博物館などの公文書扱いされていない資料については調査の必要がある。

回 数 開催月日	議 題 等	内 容 等
	(2) 平成 18 年度調査・研究課題の進捗状況について	・平成 18 年度調査・研究課題のうち、移管手続きに係る問題点の整理・分析、具体的改善方策の検討状況について説明が行われた。 ・また、移管基準のうちまだ合意に至っていない、国政上の重要事項の指定、及び定期的に作成される文書の包括的合意に向けた検討状況について説明が行われた。
	(3) つくば分館における平成 19 年夏の企画展について	・つくば分館における平成 19 年夏の企画展について、「さかな・魚・肴」のテーマで行いたい旨の説明がなされ、了承された。 ・つくば分館での展示では霞ヶ浦、北浦など地元の茨城県の資料も展示したほうがよいとの発言があった。 ・関連で本館の夏の企画展についての質問がされ、「三国志演義」か「花」のいずれかを考えている旨の発言があった。
第 55 回 12 月 15 日	(1) 第 3 回東アジア史料研究編纂機関協議会国際学術会議参加報告	・前月開催された第 3 回東アジア史料研究編纂機関協議会国際学術会議について、出席した専門官から報告が行われた。その中で今後の課題として、会議での通訳（日・中・韓）の問題点の改善等が挙げられた。
	(2) 第 39 回国際公文書館円卓会議参加報告	・前月開催された第 39 回国際公文書館円卓会議（CITRA）について、出席した専門官から報告が行われた。
	(3) 国立公文書館の公開制度と著作権について	・国立公文書館の公開制度と著作権について、公開審査を担当する専門官から、問題点及びその対応方針等についての説明があり、その根本的解決法等の意見交換が行われた。
	(4) その他	・前月開催された図書館総合展に参加した専門官から、フォーラムで国立公文書館及びアジア歴のデジタルアーカイブのデモンストレーションを行った等の報告が行われた。
第 56 回 1 月 19 日	(1) 平成 19 年春の特別展について	・平成 19 年春の特別展の展示内容、講演会講師、アドバイザー会議メンバー等の検討状況について説明が行われた。
	(2) 平成 19 年秋の特別展について	・平成 19 年秋の特別展の展示内容の構成、タイトル、展示期間について説明が行われた。
第 57 回 2 月 16 日	文書管理のための法整備について －公文書管理法研究会・論点整理から－	・一橋大学大学院法学研究科教授であり、公文書管理法研究会座長でもある高橋滋氏から、「文書管理のための法整備について －公文書管理法研究会・論点整理から－ 」と題して、文書管理のための法律を整備するに当たっての論点等について講義、及び質疑応答・意見交換が行われた。

回 数 開催月日	議 題 等	内 容 等
第 58 回 3 月 16 日	(1) 平成18年度調査・研究課題について（総括）	・平成 18 年度の調査・研究課題（①移管手続きに係る問題点の整理・分析、具体的改善方策の検討、②公開に関する手続き及び基準の検討、③内閣文庫所蔵資料の図版所在情報の作成、④当館所蔵の朝鮮本の解題）について、それぞれ各テーマを担当する専門官・研究官から、本年度の調査研究の結果について報告が行われた。 ・電子公文書関係の調査研究（マクロ評価選別の日本版マニュアルを作成するための事例研究）について、業務課から報告が行われた。研究結果は事務的な報告の他に、院生の記名論文を北の丸に掲載してもらうことを考えているとの発言もあった。
	(2) ICA クアラルンプール大会準備会合報告	・2月3日から9日に開催されたICA クアラルンプール準備会合の報告が出席した高山理事から行われた。来年の7月開催に向けて、大会で取り上げるべきテーマや検討事項についての意見交換が行われた。
	(3) 平成 19 年第 1 回常設展について	・平成 19 年第 1 回常設展について、担当専門官から説明が行われ、検討の結果、展示期間は5月31日から9月14日までとなった。
	(4) 平成 19 年夏の企画展について	・平成 19 年夏の企画展「三国志」展について、担当専門官から説明が行われ、検討の結果、開催期間は7月23日から9月14日までとなった。
	(5) 平成 19 年秋の特別展について	・平成 19 年秋の特別展について、担当専門官から説明が行われ、主に、①展示の構成、②一般向けの工夫をどのようにするか、③タイトルをどうするかについて、質疑応答が行われたが、決定には至らず、次回に再検討することとした。また、講演会講師として石川忠久氏に決定することを保留し、アドバイザー3名は了承された。